



教育委員会だより さいたま

第47号

発行日:令和7年12月19日(金)
～ Well-being 実現のために～ 発行:さいたま市教育委員会



教育長メッセージ

さいたま市教育委員会 教育長 竹居秀子

「さいたま市コミュニティ・スクールシンポジウム」を開催します

師走の候、皆さまにはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。また、日頃よりさいたま市の教育行政にご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

近年、社会の構造や価値観は急速に多様化し、それに伴い子どもたちを取り巻く環境もかつてないほど複雑になっています。いじめや不登校、家庭環境の変化など、学校が直面する課題は一層深刻化する一方で、地域社会では人と人とのつながりが希薄になりつつあります。

このような状況の中で、子どもたちを支えるためには、学校と地域が連携し、継続的かつ組織的な仕組みを構築することが求められています。学校・家庭・地域が一体となって子どもたちを育む「地域とともににある学校づくり」は、子どもたちが自らの学びを地域社会と結びつけ、実社会の中でその意味や価値を実感する「社会に開かれた教育課程」の実現を力強く後押しするものです。これは、未来を担う人材の育成と、地域の持続可能な発展を支える重要な「鍵」となるといえるでしょう。

現在、本市では「コミュニティ・スクール」を積極的に推進しており、多くの学校で「学校運営協議会」を通じて教育活動や学校運営について活発な意見交換が行われています。地域・家庭と学校が信頼関係を深めながら、子どもたちの健やかな成長を地域全体で支える体制が整いつつあります。

今後は、こうした取組をさらに活性化するために、子どもたち自身が学校運営や地域の活動に主体的に関わり、自らの意見を発信し、地域の一員としての自覚と責任を育む機会を広げていくことが必要です。子どもたちの参画こそが、コミュニティ・スクールの新たな可能性を切り拓く鍵になると考えます。

そこで、令和8年1月30日(金)開催予定の「さいたま市コミュニティ・スクールシンポジウム」のテーマを『こんなコミュスクあつたらいいな～地域の未来をつくるコミュニティ・スクール～』とし、新たな可能性を保護者や地域の皆さまと共有いたします。会場はRaiBoC Hall(市民会館おおみや)、定員は1,400名です。「子どもの未来・地域の未来」に関心のある方々の参加を広く呼びかけています。当日は、これまでの取組を振り返り、研究協力校による実践発表を通して地域との連携が子どもたちに与える影響を考察します。さらに、パネルディスカッションでは、私をはじめPTA協議会、中学校長会、社会教育士、学校地域連携コーディネーターなど、実践経験豊富な登壇者が学校と地域の課題や今後の展望について意見を交わします。

このシンポジウムが、地域と学校がともに歩む新たな一步となり、子どもたちの未来と持続可能な地域の未来を共に創る契機となることを願っております。

年の瀬を迎え、どうぞご自愛のうえ、穏やかな新年をお迎えください。

教育長フォトレポート

教育長が参加した行事の模様や
活動の様子などをお伝えします
※教育長フォトレポートは[こちら](#)から

志
動



考
動

さいたま市コミュニティ・スクールシンポジウム

こんなコミスクあつたらいいな

～地域の未来をつくるコミュニティ・スクール～

令和8年1月30日(金) 14:00~16:15(開場13:30)

会場 RaiBoC Hall (市民会館おおみや) 大ホール 大宮門街 7階

対象 校長、学校地域連携コーディネーター、学校運営協議会委員、保護者、関係団体等、地域と学校の活動に興味のある方

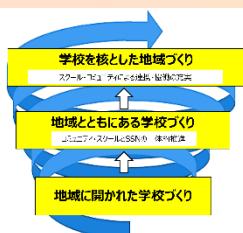
定員 1,400名(要申込) ※申込は12月26日(金)まで

内容 【第1部】研究協力校の実践発表
与野西北小学校と八王子中学校による実践と成果の報告【第2部】パネルディスカッション
未来のさいたま市コミュニティ・スクールの姿を語る

詳細・申込方法はさいたま市ホームページ(右記2次元コード)から

▶ 市HP コミュニティ・スクールシンポジウム 

RaiBoC Hall (市民会館おおみや) 大ホール
 ●さいたま市大宮区大門町2-118 大宮門街 7階
 ●大宮駅東口から徒歩3分
 ●専用の駐車場等はございません。公共交通機関をご利用ください。

参加費
無料さいたま市
コミュニティ・
スクール
成長モデル
(イメージ図)

コミュニティ・スクールとは、学校運営協議会を中心に、地域の皆さんや保護者が学校づくりに参加し、子どもたちの学びを支えながら地域の絆を深めていく仕組みです。

さいたま市教育委員会では、学校・家庭・地域が一体となって子どもを育てる「コミュニティ・スクール」を令和4年度から市立のすべての学校で導入しました。これは全国的にも先進的な取り組みです。背景には、不登校やいじめ、児童虐待など学校だけでは解決が難しい課題の増加や、地域の担い手不足によるつながりの希薄化があります。

こうした課題に向き合うため、令和3年度に「さいたま市コミュニティ・スクール成長モデル」を策定し、学校・家庭・地域が協力しながら理想の姿を描くための指針としました。そして翌令和4年度には、市内すべての学校でコミュニティ・スクールをスタートさせています。

さいたま市
コミュニティ・
スクール
成長モデルの
詳細はこちら

コミュニティ・スクールが始まってから、子どもたちの中に「地域の大人が応援してくれている」「自分のことを気にかけてくれている」といった気持ちの変化が見られるようになりました。こうした意識の広がりは、学校生活や日常の暮らしにも良い影響をもたらしています。

一方で、まだ課題もあります。例えば、子どもに関する情報の共有が十分でないことや、家庭での地域活動への意識が高まりきっていないことなどです。そこで教育委員会では、実践事例集の作成や広報誌「コミ丸」の発行、研究協力校の指定などを進めながら、コミュニティ・スクールをさらに発展させていこうとしています。その取り組みの集大成として、令和8年1月30日に大宮のRaiBoC Hallで「さいたま市コミュニティ・スクールシンポジウム」を開催します。当日は研究協力校の成果発表や、参加者の皆さんとの意見交換を行っていきます。



教育委員会からのお知らせ

【第2弾】さいたま市大学等進学「夢」支援（給付型奨学金）のクラウドファンディングを実施しています！

学事課 ☎:048-829-1647

▶ 概要

さいたま市では、自身の持つ夢や志を叶えようという熱意のある高校生に対し、審査のうえ、大学等の受験料及び入学一時金の支給を行うことで進学を後押しする事業、さいたま市大学等進学「夢」支援を実施しています。

本事業に係るプロジェクトとして、令和7年6月から8月までの間、寄附を受け付け、2,687,210円のご支援をいただきましたが、高校生の進学をさらに後押しするため、改めて皆様からの寄附の受付を行わせていただきます。

1. 目標金額 1,858,000円

2. 受付期間 令和7年11月14日(金)から
令和8年2月11日(水)まで

3. 寄附の使いみち

お寄せいただきました寄附は、受験料及び入学一時金の支給に活用させていただきます。

4. 受付方法

(株)トラストバンクが企画・運営する、ふるさと納税ポータルサイト「ふるさとチョイス」上の専用ページ、または「寄附申出書」によりお申し込みください。



「田島ヶ原サクラソウ自生地」天然記念物を守るためにクラウドファンディングを実施します
文化財保護課 ☎:048-829-1723

さいたま市桜区にある特別天然記念物「田島ヶ原サクラソウ自生地」は
環境変化により個体数が減少し、絶滅の危機にあります
さいたまの宝を未来へつなげていくために、皆様からのご支援をお待ちしております

目標金額 2,500,000円

期 間 10月3日(金)9時00分～12月31日(水)23時59分

寄附金の用途 サクラソウの減少要因の解明、個体数の維持・増加に向けた調査分析・維持管理を行う費用に活用させていただきます



寄附方法 ふるさと納税ポータルサイト「ふるさとチョイス」専用ページ
または「寄附申出書」よりお申し込みください



田島ヶ原サクラソウ自生地キャラクター
サクラソウサギ

日 時 令和7年12月25日(木)
9時45分～15時15分

会 場 大宮国際中等教育学校

参加者
・探究学習プログラム「さいたまエンジン」
実施校7校の代表生徒
・「さいたまエンジン」参画企業14社

内 容 生徒が地元企業の方と協働して考えたビジネス提案を発表し、グランプリと準グランプリを決定する

令和6年度 グランプリ

与野南中学校 チーム「ROSE VORTEX」
タイトル：「バラの舞」

医療用小型
吸引機



結婚式

フラワーシャワーでイベントを活性化！

中学生が婚姻数の減少傾向に
課題意識をもつという視野の
広さが光る提案である。



「約束の場所で:ブック・アートで広がるイマジネーション」を開催します！

うらわ美術館 ☎:048-827-3215

うらわ美術館開館25周年記念

約束の場所で

ブック・アートで広がるイマジネーション

2025.11.15 sat.-

2026.1.18 sun.

皆さんの想像を超える不思議な本が盛りだくさん！
うらわ美術館で「本をめぐるアート」を楽しんでみませ
んか？

詳細は、当館ホームページ
でご確認下さい。
うらわ美術館／ホーム

